

# サバティカルスペースからはじめる社会貢献

## 社員の社会貢献意識を高めるためのサバティカル休暇

**自分らしい社会貢献**

キャリアを積み重ねるだけではなく、一時的にキャリアから離れ、自分自身の社会貢献意識を高める。それが、自分自身の社会貢献意識を高めることにつながる。

**社員の社会貢献意識の向上が企業価値を高める**

社会貢献意識を高めることは、企業としての競争力向上につながる。社員の社会貢献意識が高まれば、企業価値も向上する。

**3回取得できるサバティカル休暇**

30代、40代に1回ずつ、さらに自分の好きなタイミングで1回の計3回取得できる。育児や介護など、自身の状況に合わせてサバティカル休暇を取得する時期を選択できる。

**Daigas**

多くの社員の社会貢献意識が向上することは、会社としての新たな社会貢献ビジネスの構築につながる。社員がサバティカル休暇を取得することが、結果として大気ガスの削減に貢献する。

**一般的な働き方**

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

**一般的なサバティカル休暇取得(1回のみ)**

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

**基本提案におけるサバティカル休暇制度(複数回取得できる)**

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

一般的なサバティカル休暇制度は、規定の勤続年数に達した社員に対して、長期休暇を与える制度である。本提案におけるサバティカル休暇制度は、1年間の休暇を2回から最大3回取得できる。社員は、この期間に自身の状況に合わせてサバティカル休暇を取得し、退職後の第二のライフステージにおいても、自分らしく生きることが可能である。

## S(Sabbatical)ゾーン、P(Private)ゾーン、いずれにも使用できるSP(Sabbatical Private)ゾーンの提案

5階平面図 1:100

502号室(複数人用) SPゾーン

503号室(複数人用) Pゾーン SPゾーン

504号室(単身用) Sゾーン Pゾーン

505号室(単身用) PS SPゾーン

501号室(複数人用) PS SPゾーン

504号室(動物愛護に関する法人を設立し、飼い主も動物も幸せな社会を目指す)

505号室(家庭菜園を通じた交流の場の提供)

NEXT21の際、6階をサバティカルフロアとして、サバティカル休暇取得中の社員が居住しながら、お試しで利用できる。サバティカルスペース付き住戸を整備することを提案する。各住戸は、Sabbaticalゾーン(サバティカル期間の社会貢献活動に使う)とPrivateゾーン(個室など私的な生活行為のために使う)。いずれにも使用できるSPゾーンという3つのゾーンから構成される。また、可変間仕切りを動かすことによって、簡単な改修のみでプランを変更することが可能である。

## サバティカルフロアが他階に及ぼす効果

断面図 1:200

他のサバティカル社員と交流することで、社会貢献意識がさらに向上する。

サバティカルフロア

サバティカルフロア

一般住戸フロア

一般住戸フロア

共用フロア

共用フロア

交流ラウンジ

サバティカル社員がホールを使って、セミナーを開催する様子

サバティカル社員が交流ラウンジ内で、地域に開かれたイベントを開催する様子

## 5人のサバティカル社員の社会貢献の形

### 503号室:社員食堂を開き、健康と居場所の提供

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳

1 NEXT21を活用

2 タカ社員食堂運営

3 NEXT21を活用

○本格的に社員食堂を運営  
50歳からは、大阪ガスに働きながら複業として、NEXT21の地で夕方から営業する社員食堂を本格的に始める。社員同士の親睦を深めたり、地域住民との交流が行いやすい場を目指して、社員や地域の居場所づくりに貢献する。

○野菜作りに関心を抱く  
NEXT21に入居し、屋上で家庭菜園を体験する。自分で野菜を育て、食べる暮らし方に慣れを持つようになる。

○食に関する勉強  
年齢を重ね、食事を考えるようになる。専ら、社員食堂を開き、社員に健康的で季節感のあるものを提供したいと考え、資格の取得、野菜栽培を行う。

○お試しで社員食堂を運営  
夜間営業も行っている社員食堂を、同じくサバティカル休暇を取得している他の良い社員と共同で開く。自分で栽培した野菜を使用し、社員食堂で社員の健康に貢献する。

自分野菜を栽培し、健康で季節感のある料理を提供するお楽しみを考えている。

対面型のキッチン越しに、店主と気軽に会話できる。この場所が不安定な居場所として、ある程度安心できる。

土間に大きなテーブルを置くことで、仕事終わりの集まりの場として、気軽に利用できる。

○本格的に託児所を運営  
50歳で早期退職後、NEXT21の住戸内で本格的に託児所の運営を始める。社員家の中にある託児所として、育児に奮闘する社員を支援する。

○ボランティアと保育の勉強  
放課後デイサービスのボランティアとして活動する傍ら、保育の勉強に力を入れる。

○妻の復職の手助け  
第2子の誕生から1年が経ち、保育士である妻の社会復帰を支える。

○お試しで子どもの居場所づくり  
家に居づらい子どもの居場所を1年間お試しで運営する。併せて、NEXT21に住む社員や地域の子育ての悩み相談に乗ったり、短時間子どもを預かったり、子を持つ人々に寄り添う活動を行う。

○本格的に動物愛護に関する法人を設立  
動物愛護法人を1年間お試しで運営する。NEXT21に住む社員や地域住民のペットに関する相談に乗るとともに、ふれあいコーナーを設けることで癒しの場を提供する。

動物が大好きで散歩される猫が多いために、動物を預かりたいという資格を取得する。また、団体の運営方法なども勉強する。

○ボランティアに参加  
既存の動物愛護団体にボランティアとして参加するなどして実践的な経験を積む。

○お試しで動物愛護に関する法人を設立  
動物愛護法人を1年間お試しで運営する。NEXT21に住む社員や地域住民のペットに関する相談に乗るとともに、ふれあいコーナーを設けることで癒しの場を提供する。

### 501号室:自宅に居づらい子どもの居場所をつくり、子育ての悩み相談の場も提供

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳

1 NEXT21を活用

2 NEXT21を活用

3 NEXT21を活用

○本格的に託児所を運営  
50歳で早期退職後、NEXT21の住戸内で本格的に託児所の運営を始める。社員家の中にある託児所として、育児に奮闘する社員を支援する。

○ボランティアと保育の勉強  
放課後デイサービスのボランティアとして活動する傍ら、保育の勉強に力を入れる。

○妻の復職の手助け  
第2子の誕生から1年が経ち、保育士である妻の社会復帰を支える。

○お試しで子どもの居場所づくり  
家に居づらい子どもの居場所を1年間お試しで運営する。併せて、NEXT21に住む社員や地域の子育ての悩み相談に乗ったり、短時間子どもを預かったり、子を持つ人々に寄り添う活動を行う。

○本格的に動物愛護に関する法人を設立  
動物愛護法人を1年間お試しで運営する。NEXT21に住む社員や地域住民のペットに関する相談に乗るとともに、ふれあいコーナーを設けることで癒しの場を提供する。

動物が大好きで散歩される猫が多いために、動物を預かりたいという資格を取得する。また、団体の運営方法なども勉強する。

○ボランティアに参加  
既存の動物愛護団体にボランティアとして参加するなどして実践的な経験を積む。

○お試しで動物愛護に関する法人を設立  
動物愛護法人を1年間お試しで運営する。NEXT21に住む社員や地域住民のペットに関する相談に乗るとともに、ふれあいコーナーを設けることで癒しの場を提供する。

### 504号室:動物愛護に関する法人を設立し、飼い主も動物も幸せな社会を目指す

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳

1 NEXT21を活用

2 NEXT21を活用

3 NEXT21を活用

○本格的に動物愛護に関する法人を設立  
動物愛護法人を1年間お試しで運営する。NEXT21に住む社員や地域住民のペットに関する相談に乗るとともに、ふれあいコーナーを設けることで癒しの場を提供する。

動物が大好きで散歩される猫が多いために、動物を預かりたいという資格を取得する。また、団体の運営方法なども勉強する。

○ボランティアに参加  
既存の動物愛護団体にボランティアとして参加するなどして実践的な経験を積む。

○お試しで動物愛護に関する法人を設立  
動物愛護法人を1年間お試しで運営する。NEXT21に住む社員や地域住民のペットに関する相談に乗るとともに、ふれあいコーナーを設けることで癒しの場を提供する。

### 502号室:民泊を開き、若い旅行者を支援

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳

1 NEXT21を活用

2 NEXT21を活用

3 NEXT21を活用

○若い旅行者を支援する民泊  
夫婦で旅行することが趣味で、旅行好きの人の交流を促進するために、民泊を1年間お試しで営業する。

○親友は移住先で民泊事業  
50歳で早期退職後、これまでのサバティカル休暇中に培った経験を活かして、地方に移住し、民泊事業を本格的に始める。

○民泊事業を本格的に始める  
50歳からは、大阪ガスに働きながら複業として、NEXT21の屋上庭園を使って、本格的に家庭菜園の活動を事業化する。

○家庭菜園を通じた交流の場の提供  
家庭菜園を本格的に始める。NEXT21の屋上庭園を使って、本格的に家庭菜園の活動を事業化する。

N00184

# サバティカルスペースからはじめる社会貢献

- 森 夏規(兵庫県立大学)
- 岸本 麻由(兵庫県立大学)
- 藤近 愛(兵庫県立大学)
- 南田 愛斗(兵庫県立大学)
- 森田 真央(兵庫県立大学)
- 大寺 ちひろ(兵庫県立大学)
- 高杉 優里(兵庫県立大学)
- 丹葉 あい子(兵庫県立大学)
- 原 小羽(兵庫県立大学)